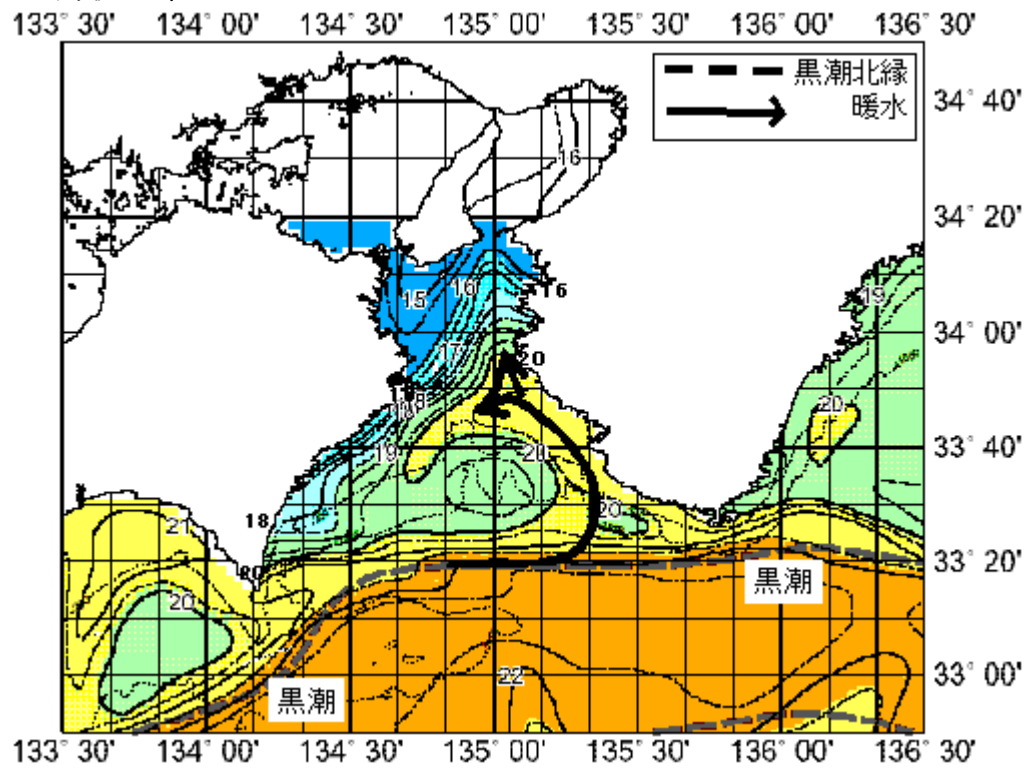


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.05.07)を示した。

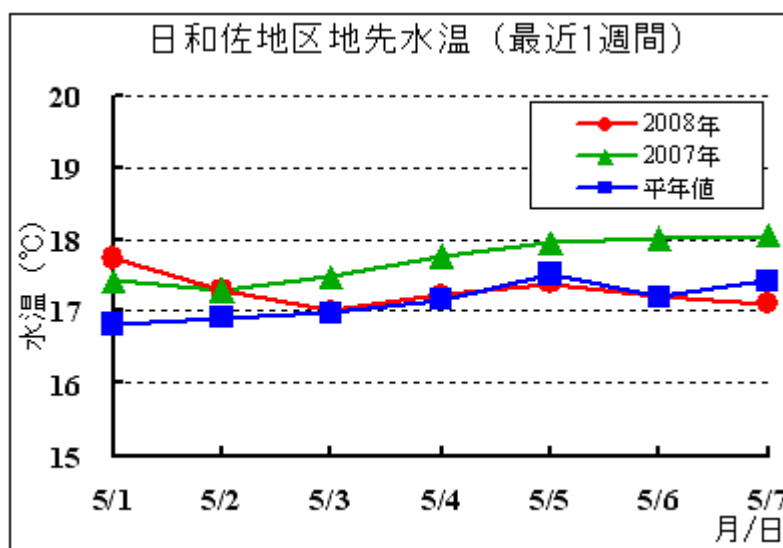
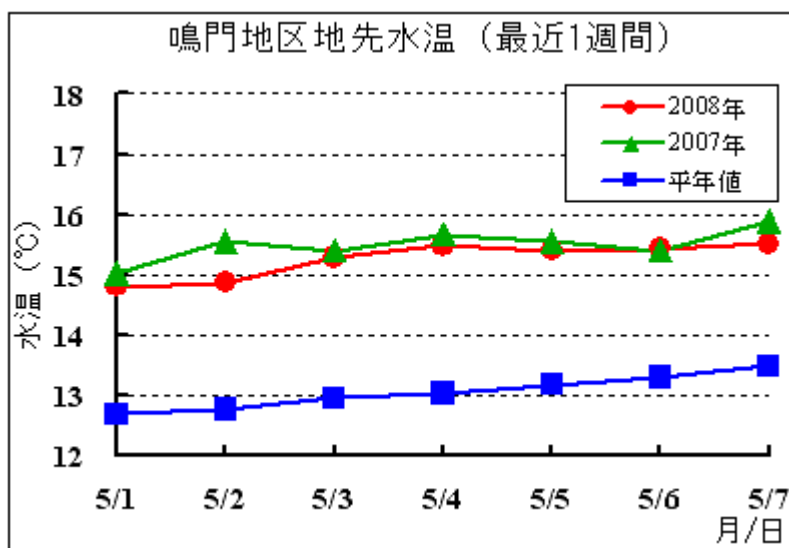
黒潮は室戸岬沖、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は21～22℃台である。

表面水温は播磨灘が15℃台、紀伊水道内部が15～20℃台、外域が17～20℃台である。

紀伊水道内部では、和歌山県側から黒潮系水が流入している。また、紀伊水道外域では、和歌山県側から黒潮系水が反時計回りに流入している。先週以降、内海系水が海部沿岸を下っており、海部沿岸下灘まで内海系水に覆われている。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「高め」の14.8～15.5℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の17.0～17.7℃、牟岐地区は「低め」～「やや高め」の15.7～17.5℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にアマダイが0.2トン(1日1隻あたり16kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、マアジが0.7トン(同106kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、イサキが0.5トン(同78kg)、小主体にスルメイカが0.6トン(158kg)、中主体にタチウオが1.9トン(同317kg)、中主体にハマチが0.4トン(同44kg)、大主体にマアジが0.7トン(同71kg)、マルソウダが2.4トン(同204kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中主体にカツオが2トン(同108kg)、キハダが0.3トン(同347kg)、大主体にシイラが0.2トン(同40kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが11.2トン(同175kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 04月30日～05月06日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	アマダイ	14	220	16	大主体	
小型定置網		マアジ	7	742	106		
大型定置網		イサキ	6	467	78		
		スルメイカ	4	630	158	小主体	
		タチウオ	6	1,901	317	中主体	
		ハマチ	8	354	44	中主体	
		マアジ	10	706	71	大主体	
		マルソウダ	12	2,448	204		
釣り		カツオ	19	2,048	108	中主体	
		キハダ	1	347	347		
		シイラ	6	242	40	大主体	
パッチ網		紀伊水道	シラス	64	11,200	175	

週間予報:

黒潮は、室戸岬・潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「高め」の15～16℃台、日和佐地先で「やや高め」の17℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の曳き縄で、カツオが32トン(1日1隻あたり0.5トン)、定置網で、ワラサが2.3トン(同0.3トン)、マアジが5.2トン(同0.6トン)、釣りでタチウオが0.3トン(同25kg)、イサキが1.1トン(同0.1トン)、パッチ網でシラスが10トン(同0.1トン)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上